

し耕作は昨年の大旱魃以上の打撃を蒙り昨年以上の收穫減少が
豫想されてゐるのである。

耕作に於いてさへ、封鎖的地主の土地所有に依り高い小作料と實
本家の獨占價格に依る搾取を蒙り勤勞農民の生活は窮乏のどん
底にあり、二、四月頃に至れば飯米にこと缺くと言ふ状態にある
此の如き生活状態は自然的現象に依る災害を蒙むことに依つて
全國の貧農小作人と同じく同一層窮乏に拍車をかけられてゐるの
である。

斯くの如き中に農民闘争の戦線は如何にこの福岡、佐賀に伸びて
ゐるか。

日本農民組合同盟九州聯合會

これは福岡縣米長、乳業、洋羽を中心として組織を打ち聯合員二
十と稱せられてゐるか、その組織部はフアツシヨ的な反動團體た

農道會に屬し、早稲と提携しており、組織の中心を中農層として
ゐるので、窮乏せる貧農小作人の切實なる要求を取り上げて闘は
ないので組合員大衆の間に幹部に對する不平が多い。

全農福岡縣聯合會

これは社日大衆黨に屬する幹部が其の上位にあるので多分に社會
フアツシヨ的な気分があるが、全農本部指導部が正統派的立場に
あるので其の態度を明確に以し得ない。組織地盤は企救部を中心
に三井市、小倉市等組合員五百を以て算せられてゐる。

全農佐賀聯合會

、、、二行林業、、、現在組織は佐賀縣に於いては三養基一
郡福岡縣では福岡市、朝倉、乳業、三井、早良、糸島、京都、織
上、三浦、山門各郡市と縣の大半を掩ひ組合員三千餘の強力なる
組織を打つてゐる。其の闘争の闘線は福岡縣では大正十二年より